

ことばの学び

a new way of learning Japanese

別冊 No.10

特集 対話を生み出す

言語活動ワークシート

市民一人一人に求められる対話の力

東日本大震災から二年が過ぎようとしています。住環境をはじめ予算や各種データの集積・分析など、復興にあたって解決すべき課題が各局面にわたって継続中です。復興プロセスの局面を横断して重要とされるものの一つが、利害関係者（ステークホルダー・stakeholder）が集まり、行政、建築、防災などの専門家とともに地域住民が参画する場の設営です。そうした場において必要となるのが、お互いが意見と知恵を出し合って共同的に問題を解決していく力です。

おしなべて私たちの社会は、「利害や思惑が対立する人との交流・話し合い」——ここでは、これを「対話」と呼ぶことにします——を積極的にねばり強く行う習慣や風土が根付いていないと言われています。また、この「対話」の力は、親睦を目的とした共感的な「会話」おしゃべりや、相手を攻撃する「言い合い」と異なり、特に意識化して子どもの時代から継続的に培っていく必要があるとされています。

今回、特集としてご用意いたしましたのは、現代社会を生きる市民一人一人に求められる共同的問題解決力、特にその基盤となる「対話力」を、国語科の授業のなかで体験し、楽しみながら身につけていく言語活動例です。収録の授業案では、対話のためのワークシート活用を、「読むこと」および「書くこと」の学習の活性化と深化の流れのなかに組み込み、それぞれの教科書教材の学習過程に沿ってデザインいたしております。教材・授業研究、ご実践にご活用いただければ幸いです。

目次

CONTENTS

対話を生み出す

言語活動ワークシート

1年「食感のオノマトペ」(読む) …… p2

2年「この人を語る」(書く) …… p5

3年「ありがとう」と言わない

重む」(読む) …… p8

対話を生み出す場づくりのために

—ブックガイド …… p11

平成24年度版中学校教科書

「中学生の国語」訂正のお知らせ …… p13



1年

読む◇説明

食感のオノマトペ

教科書本冊
188ページ

《配当時間》 読む 4
《学習目標》「1」は対応する学習指導要領の指導事項を示す
・数値やグラフから読み取った情報を手がかりに文章を読み進める。【Cカ】

■「食感のオノマトペ」×「対話」の授業

この教材は、食感を表す日本語のオノマトペについて、筆者が実際におこなった研究をもとに書かれています。外国語との比較に基づく記述や、アンケートをもとにしたグラフを的確に読み取り、そこから得た情報を手がかりにして、筆者がどのような考えを導きだしているのかを読み取ります。

食感を表すオノマトペは、生徒にとって身近なテーマであり、教室で「対話」が深めやすいテーマであるといえます。文章を読み深める過程に、「対話」の場を位置づけることで、書いてある内容をより実感をもって理解できたり、ときには異なる視点に気づいたりもします。

グループのメンバーと共同して、オノマトペを使って食感を魅力的に伝えるCMを作る中で、「対話」が生まれ、「対話」をおして文章をより理解する。ここではそれを実現するための、「対話」を生み出す学習活動とワークシートを提案します。

■「対話」を生み出す言語活動例

この教材の内容を、より実感をもって理解するために、「食べ物の食感を魅力的に伝えるCMを作る」という活動を設定しました。

まず、各自が九つの食べ物を選び、オノマトペを書きだします。ここでは、日本語の食感に関するオノマトペの多さを実感します。

次に、グループになって、どんな食べ物のCMを作るか、そこでどんなオノマトペを使用するかを考えます。前の活動であらかじめ書きだしたオノマトペを持ち寄ることには、生徒同士のオノマトペの使い方に違いがあることに気づき、そこから「対話」が生まれるというねらいがあります。

各グループが選んだ食べ物を、それぞれ食感に特長がある商品であると設定し、食感のオノマトペを有効に使ったCMを考えます。

共同して一つのCMを作る活動をおして、「対話」を深めることによって、より多角的なものごとを捉えられることを体験する時間となります。

■学習の流れ

時数	学習活動
第1時	全文を通読する。日本語のオノマトペについて、どのような特徴があるのか、本文とグラフをもとに読み取る。
第2時	「食感のオノマトペ」に関する筆者の考えを整理する。
第3時	各自で様々な食べ物のオノマトペを書きだす。 グループになって、CMで扱う食べ物を決め、宣伝したいものの食感が魅力的に伝わるオノマトペを考える。
第4時	★ワークシート①活用 グループでCMの構想と、絵コンテンツを考える。 ★ワークシート②活用 CMの構想をグループごとに発表し、感想を交流する。

食感のオノマトペ ①

— 宣伝したいものが魅力的に伝わるオノマトペを考えよう —

一年 組 番 氏 名

① 様々な食べ物の食感をオノマトペで表現してみよう

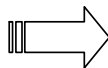
- ① 枠内に、食べ物の写真をはりつけたり、絵を描いたりする。
- ② 吹き出しに、食感を表現するオノマトペを書き入れる。

② グループで話し合って、宣伝する食べ物とCMで使うオノマトペを決めよう

◆ 宣伝する食べ物を選ぼう ↓

◆ 選んだ食べ物の食感が魅力的に伝わるオノマトペを決めよう

友達の名前	選んだ食べ物の食感をオノマトペで表そう...



CMで使うオノマトペ

※CMでは、オノマトペを効果的に使って食感を伝えよう。

食感のオノマトペ ②

「オノマトペを効果的に用いて、食べ物を宣伝するCMを作ろう」

一年 組 番 氏 名

①グループで話し合って、CMの構想を考えよう

- ★ CMの長さ ↓ 十五秒
- ★ 宣伝する食べ物 ↓ ()
- ★ 使用するオノマトペ ↓ ()
- ★ 主なターゲットとする年齢層
- ★ CMの場面設定・登場人物
- ★ オノマトペの使い方の工夫 — 食感を魅力的に伝えるために
- ★
- ★

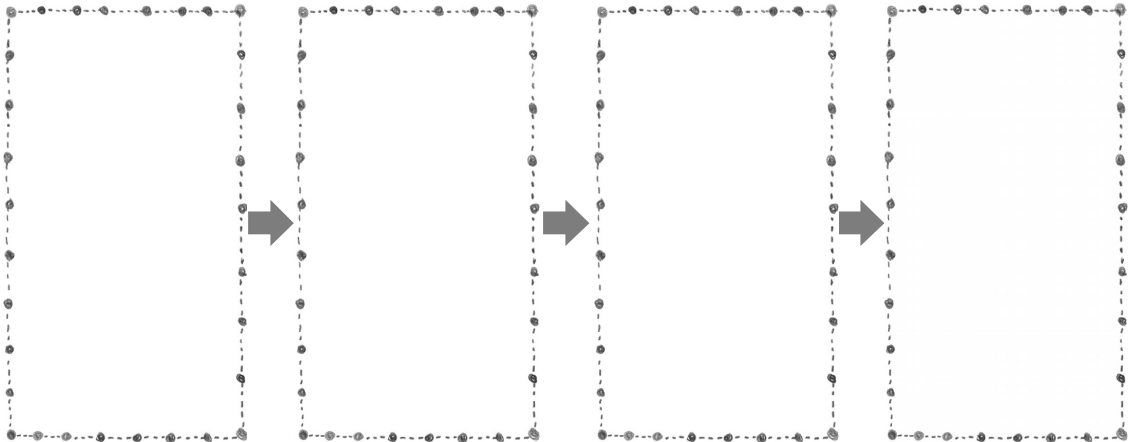


オノマトペを効果的に使って、おいしさをアピールしよう。



食感のオノマトペには、どんな特徴があったか、思い出してみよう。

②CMの縦コンテを作成しよう！



2年

書く

この人を語る

教科書本冊
208 ページ

《配当時間》 書く4

《学習目標》「1」は対応する学習指導要領の指導事項を示す

- ・相手に効果的に伝わるように、構成や表現を工夫して書く【Bウ】
- ・わかりやすい文章になるよう、語句や文、文章の構成を見直す

【Bエ】

■「この人を語る」×「対話」の授業

この教材では、人物紹介のパンフレットを書く活動を行います。教科書上は、個人の取り組みとして、自分がクラスの友達に紹介したい人物について、パンフレットを作る活動となっています。

ここでは、グループ活動とし、グループで共同して一つのパンフレットを作る過程において「対話」を生みだすことを目指しました。また、グループ同士が相互にインタビューするとう、グループ間での交流をとおして、「対話」の生まれる学習活動を提案します。

紹介する人物は、グループの数だけあらかじめ提示して、その中から選ぶようにします。一人での活動とは違って、グループの友達と考えを出し合いながら協力してまとめます。他のグループとも交流し、「対話」によって一つのものを作る学習です。それぞれの考えの違いを前提としつつも、話し合いの中で、お互いに変化し合う姿勢が大事になります。

■「対話」を生みだす言語活動例

他の人物を紹介するグループと相互インタビューによる交流を行う際には、それぞれのグループのメンバーが、その人物に「なりきって」受け答えをします。質問に応じてグループ内の誰かが答え、わからないことを質問されても、思い切つて答えることが重要です。

インタビューに答えることで、読み手の興味・関心を知り、紹介する人物を自分のこととして考え、通り一遍の紹介にとどまることなく、主体的に取り組める契機とします。

また、インタビューでは、質問に答えてもらったら、その答えを受けてさらに質問を重ねることを重視します。それにより、お互いの理解を深めていく「対話」が生まれます。

なお、情報収集では、グループになる前に各自が資料収集を行うことを前提としています。あらかじめ分担当をせずに情報を持ち寄り、重なる部分と違う部分とをすり合わせながら、一つのパンフレットにまとめめる過程で「対話」が生まれることを図るためです。

■学習の流れ

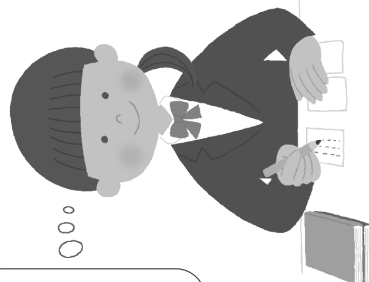
時数	学習活動
第1時	紹介する人物を決め、それぞれが資料を集める。 ★ワークシート①活用 (ワークシート①は第3時まで活用する)
第2時	グループ間での相互インタビューを行う。
第3時	★ワークシート②活用 必要な資料を集め直し、グループで内容と構成を決めて書く。
第4時	パンフレットをグループで推敲できたパンフレットを読み合う。

この人を語る ①

— 紹介する人物を決めて、情報を集めよう —

二年 組 番 氏 名

① 紹介する人物を決めよう



どんな人物かな？

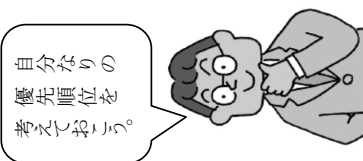
② 人物の情報を集めよう

- 基本情報
- この人物の言葉
- この人物らしいエピソード

など、紹介したいところを中心にカードや付箋に書きだそう

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 優先順位 位 </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 優先順位 位 </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 優先順位 位 </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 優先順位 位 </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>

◆ 書きだしたことは、インタビューでも、グループでパンフレットの内容を決めるときにも活用します。書きだしたことの中で、特に紹介したいことは何かを考えておきましょう。



自分なりの優先順位を考えておこう。

この人を語る ②

―グループ相互にインタビューをして紹介する内容についての理解を深めよう―

二年 組 番 氏名

① 紹介する人物になりきって、グループ間で相互にインタビューをし合おう

◇インタビューの相手 ()

◇インタビューメモ

【質問の例】

なぜその仕事をしようと思ったのですか。

心に残っているアドバイスはありますか。

どんな中学生でしたか。

(答えを受けて) それはどうしてですか。

(答えを受けて) 具体的には、どんなことをしたのですか。

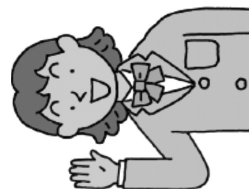
(答えを受けて) 反対に〇〇のことはありますか。

◆グループ間でインタビューをし合うときのポイント

○インタビューの間だけは、本人になりきって答えるようにする。

「それは調べていません。」という答えは、今回のインタビューではない。

○質問に対する答えを聞いたら、それで終わりにしないで、相手の答えを受けてさらに重ねて質問をするようにする。



② インタビューを受けて、もう少し調べ直したほうがよいことがあったら書きだそう。

「ありがとう」と「言わない重さ」

言わない重さ

教科書本冊
166ページ

《配当時間》 読む5

《学習目標》 1 「は対応する学習指導要領の指導事項を示す

・言葉と生活・社会について考えながら読む【Cエ】

■「ありがとう」と言わない重さ」×「対話」の授業

あいさつの言葉や感謝の気持ちを表す言葉は、その国の生活・社会・文化や、またそれらを支える価値観と深くかかわっています。この教材では、感謝の表現を、「ある集団の思考・行動様式上の固有の形」と捉えたいうえで、その表現のしかたとかかわりについて考えることをねらいとしています。

この教材の話題の中心は「モンゴル人」の考え方やそれを育んできた背景にあります。が、「日本人」や「アメリカ人」の考え方との対比の中でそれをより具体的につかんでいくことができます。その過程に「対話」のエッセンスを加えたのが、今回ご提案する学習活動とワークシートです。三つの異なる言語圏の人になりきってお芝居をすることで、三者の違いをより鮮明に浮き上がらせます。演じながら体験することで、コミュニケーションをめぐる文化や価値観について改めて考える取り組みです。

■「対話」を生み出す言語活動例

「当たり前と思っていたことが、相手によっては通じないとは、どういうことか。」

学習者たちがそのような状況を体験するために「100秒間劇場」という場を設定しました。ドラマを演じることで、学習者たちはその状況を全身で味わうことができます。

また、セリフは決まっていけないので、学習者たちはそれぞれの配役に応じてその場でセリフを考え、しゃべる必要があります。このアドリブ満載な即興劇を楽しむなかで、文章を読むだけでは思いもつかなかった新しい視点を発見していくのがこの活動のねらいです。

「100秒間劇場」では、この教材の筆者が述べていることとは異なる、別の展開が始まるかもしれません。それは、他者の言葉(対話)に刺激を受けて、また別の視点が見つかる「学びの連鎖」が始まる瞬間であるかもしれません。教室で起こる展開の過程を楽しみながら観察することは、学習者にとっても授業者にとっても価値ある行為となるでしょう。

■学習の流れ

時数	学習活動
第1時	全文を通読し、全体の構成を考える。三つの言語圏における感謝の気持ちを表す言葉の語感や用法について考える。
第2時	三つの言語圏における感謝の表現の違いを読み取り、各言語圏の人になりきってお芝居をつくる。状況によって、どんなセリフが出てくるかを考える。
第3時	★ワークシート①活用 「100秒間劇場」を開催する。グループごとにつくったお芝居を発表し、感想を交流する。
第4時	★ワークシート②活用 モンゴルの自然・生活環境がモンゴル人の価値観の形成に大きくかわっていることを捉える。
第5時	筆者がモンゴルの人々とふれあう中で感得していったモンゴル人の精神世界の深さや豊かさについて考えを深め、話し合う。

「ありがとう」と言わない重孝 ①

— 三つの言語圏の人になりきって、100秒間のお芝居をつくってみよう —

三年 組 番 氏名

① 4〜6人グループをつくろう

② 次の中から、お芝居にするシーンと配役を選ぼう

◇ シーン1 「先生との別れ・再会」

登場人物4人

- ・ 筆者 (呉人恵さん) … ()
- ・ 友人の留学生 … ()
- ・ 筆者に個人教授をした大学の先生 … ()
- ・ 筆者のファイアンセ (トウグスさん) … ()

【前半シーン】 筆者と友人が先生におせんべつを
さしあげる (教科書169ページ)

【後半シーン】 先生が筆者とトウグスさんを訪ね
てくる (教科書170ページ)

【後半シーン】で必ず入れるセリフ

「沸いたお茶は黒砂糖になれ」

※自由なストーリーでお芝居にしてみよう

★ポイント: 「沸いたお茶」はどんな意味かな?

◇ シーン2 「娘の誕生日会」

登場人物5〜6人

- ・ お父さん (日本人) … ()
- ・ お母さん (モンゴル人) … ()
- ・ 娘 … ()
- ・ 娘の友達 (アメリカ人留学生を含む) 2〜3人
… ()

必ず入れるセリフ

娘の友達「なにが変じゃない? ありがとう
くらい言ってもよそそつなものだけど」

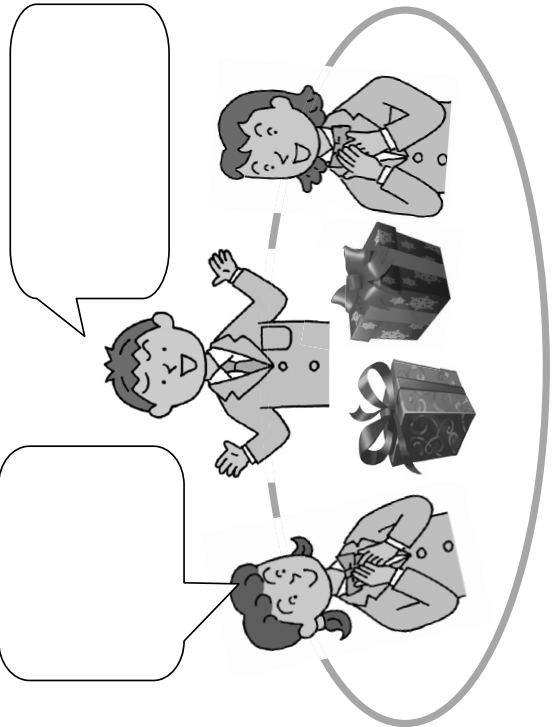
※自由なストーリーでお芝居にしてみよう

★ポイント: 「娘」はどんな立場かな?

③ セリフや動作はアドリブで、100秒間ほどのシーンをまず演じてみよう

※アドリブ: 台本にないセリフをその場で状況に合わせてしゃべること

④ いいと思うセリフがあったら、書きとめておこう



⑤ 発表するお芝居のタイトルを決めよう

★わたしたちの100秒間劇場★

「ありがとう」と言わない重さ ②

—三つの言語圏の人になって、**「100秒間劇場」**を開催しよう—

三年 組 番 氏 名

各グループの**「100秒間劇場」**を鑑賞しよう

劇団名 _____
タイトル _____
シーン () _____
笑ったところ _____

自分がやってみたい役 () _____
どんなふうに演じたいか _____

劇団名 _____
タイトル _____
シーン () _____
不自然だったセリフやしぐさ _____
よかったセリフやしぐさ _____

劇団名 _____
タイトル _____
シーン () _____
お芝居を見て、新しく気づいたところ _____

加えてみたい役 _____

劇団名 _____
タイトル _____
シーン () _____
一番アドリブが上手だった人 _____
よかったセリフやしぐさ _____

■北川達夫・平田オリザ著

三省堂 2008・4 四六判 1500円＋税

『ニッポンには対話がない』

―学びとコミュニケーションの再生―

*「どんなに大切に美しいメッセージを含んだ表現であっても、対話のプロセスがなければ、人を説得する力は生まれない」――元外交官でPIISA読解力調査専門委員の北川氏と、劇作家・演出家で大阪大学コミュニケーションデザインセンター教授の平田氏が、共同的問題解決学習、対話の学びの必要性を説き明かします。二〇〇八年の刊行以来、増刷を重ねて現在7刷に至っています。

■清宮普美代・北川達夫著

三省堂 2009・7 四六判 1500円＋税

『対話流』

―未来を生みだすコミュニケーション―

*「闘うコミュニケーションはもう古い」「thinkからWe thinkへ」――ビジネスコンサルタントの清宮氏は「質問

会議」「チーム脳」のつくり方」などの著者で、質問を核とした協働・創発の場づくりの専門家。対話的発想を根幹にすえた合意形成のプロセスや、PIISA型学力の誤解とその真意についてなど、社会人としての生きる力と学校教育との接続をめぐる刺激的な対談が展開します。

■岩堀禎廣^{よしかひろ}著

三省堂 2010・9 A5判 1600円＋税

『「脱・管理型教育」の処方箋』

―自立と対話のクラスを生みだす6つのキーワード―

*薬学博士で、医療・ビジネス・教育の現場の組織開発ディレクターとして活躍する岩堀氏が、医療・スポーツ・ビジネス界で注目の「ファシリテーション」「ナラティブ」「ビジョニング」「コンデイションング」「マネジメント」「メンタルモデル」という概念および「思考・コミュニケーション」ツールをわかりやすく紹介。思考と対話に欠ける上意下達のコミュニケーションという意味の「管理型」から、思考と対話が十全にデザインされるような「管理」マネジメントが組み込まれた教育のあり方を探ります。

■高尾隆・中原淳著

三省堂 2012・3 A5判 2000円＋税

『インプロする組織』

―予定調和を超え、日常をゆさぶる―

*「人生は変わり続け、学び続ける営み」——組織開発・経営学習論の専門家である東京大学准教授の中原氏と、演劇教育の専門家である自らインプロ（＝即興演劇）の舞台上に立つ、東京学芸大学准教授の高尾氏のコラボレーション。「身体と言葉」「学びとパフォーマンス」「創造と共愉」「計画と即興」などをキーワードに、働く人々の学びの最先端の姿が浮き彫りにされます。

■上田信行・中原淳著

三省堂 2013・1 B5変型判 2500円＋税

『プレイフル・ラーニング』

―ワークシヨップの源流と学びの未来―

*「憧れ、希望、助け合い、試行錯誤、達成感……ワクワクやドキドキの渦巻く楽しさのなかでこそ、子どもも大人

も思いっきり学ぶことができる」——『プレイフル・ラーニング』の提唱者・ハーバード大学博士の上田氏は、NHK「おかあさんといっしょ」などのコンテンツ開発にも携わった学習環境研究の専門家であり、数々のユニークなワークシヨップを創出し続ける実践家。現代の教育関係者が見逃ごすことのできない学習論や学びのキーワードが次々と飛び出すダイナミックなストーリーのなかで、学びの場のデザインの歴史とその最先端の知見を得ることができます。

■荒木寿友著

三省堂 2013・3 刊行予定 四六判 予価2500円＋税

『学校における対話と』

コミュニケーションの形成』(仮題)

*アメリカの教育学者・心理学者で道徳性発達理論の提唱者、コールバーグの「ジャスト・コミュニケーション」を巡る論考です。教育方法論を研究する立命館大学准教授の荒木氏は、ミャンマーや東北の子どもたちと対話を重ねて子ども参加のコミュニケーション形成に尽力する実践家でもあります。

3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	
本	本	本	本	本	本	本	本	本	別	別	別	別	別	別	別	
113	91	57	55	55	55	35	21	6	150	72	72	72	67	67	58	
23	2	下5	表	表	表	9	10	上段21	左6	上段11	上段10	下 タイトル	注② 下段	注② 下段	注② 下段	
(新聞記事より)	②の「カステラ」は、室町時代にスペインの古い王国の名からとった外来語であることがわかります。	国語辞典のひろがり	お花・ご飯・ご用心・ご熱心など	お花・ご飯・お祝い・おつりなど	何う(↑行く・聞く)あげる・さしあげる(↑やる)あげるさしあげる(↑やる)	申す・申しあげる(↑言う)	やすきにつく人	り	文章の展開の型 ⑮新古今和歌集序	今、目の前を	捨身の行をするによって、	撮影方法	撮影方法	撮影台本	船戸政一 一九二九年。	
(毎日新聞より)	②の「カステラ」は、ポルトガルから日本に伝わった言葉です。左の例では、スペインの古い王国の名に由来していることなどもわかります。	国語辞典の広がり			何う(↑行く・聞く)申しあげる(↑言う)あげるさしあげる(↑やる)	申す(↑言う)	体裁をとりにくう人	り	展開の型 ⑮新古今和歌集序・仮名序	今、目の前を	捨身の行いをするによって、	撮影方法	撮影方法	撮影台本	船戸政一 一九二九年―二〇二二年。	
出典の明示						様 P37・L20も同名に						出典の追加				客観的事情の変更

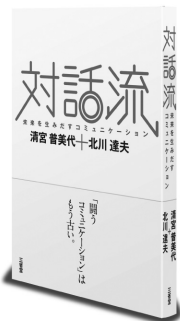
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
288	297	294	289	256	256	233	212	197	197	189	187	186	169	153	153	146	
欄 「連用形」	欄5 「備考」	欄 「時代」	下18	14行 2段	13行 2段	左下	15	8行 下段	4行 下段	下段6	上段7	下段13	注	下開み	左下	下段10	
タ(タ)続く	テ(デ)・タ(タ)続くとき	(大正時代と昭和時代の区切り)「一九二四」と「一九二六」の間	わたしは、今宵、殺される。	暁の空	ギョウウ 暁光(ぎょうこう)を望む	池田啓【1950】	B5「失礼します。ありがとうございます。」	⑤暁の空。	⑰早朝の空に暁光を望む。	④うまさが凝縮されている。	④疾風迅雷な攻撃。	手を上げる。	内モンゴル大学15	一九二九(昭和四年)	津軽弁方言詩	平安初期の女性の歌人	
タ(タ)に続く	テ(デ)・タ(タ)に続くとき	(大正時代と昭和時代の区切り)「一九二六」と「一九二九」の間	私は、今宵、殺される。	暁(あかつき)の空を望む	(ギョウウ) 暁光	池田啓【1950-2010】	B5「ありがとうございます。」失礼します。」	⑰暁の空を望む。	④うまみが凝縮されている。	④疾風迅雷の攻撃。	顔を上げる。	内モンゴル大学3	一九二九(昭和四年)―二〇一三(平成二三年)	C D元祖 笑える方言詩	平安時代初期の女性の歌人	紋様を織る織機「空引機」の略。ここでは、空引機を操る職人のこと。	
								問題の削除				脚注の位置を移動					客観的事情の変更

3 別 折込	3 別 158	3 別 157	3 別 157	3 別 101	3 別 100	3 別 91	3 別 7	3 本 299
③	左 3	右 20	右 10	中央 2	左中央	下囲み 5	「文楽」	「様態」
案ずるより生むがやすし。	段落の要点 106	段落の要点 103	99	CD 元祖笑える津軽弁方言 詩	online	は存在しない。そこ臨時に作 りあげられた	正式名称は「人形浄瑠璃」。	形・形容動詞の語幹につく
案ずるより産むが易し。	段落の要点 103	段落の要点 105	107	CD 元祖笑える方言詩	文法事典 online	は存在しない。そこで臨時に 作りあげられた	「人形浄瑠璃」とも呼ばれ ます。	形容詞・形容動詞の語幹につ く

※各学年の巻末の漢字表につきましては、訂正したページを弊社ウェブサイトに掲載しております。ご参照くださいますようお願い申し上げます。

<http://bsanseido.co.jp/kokugo/24kokugo/index.html>

- ◎新しい思考は、過去から抽出されるのではなく、
いまある集団のなかに出現する——清宮普美代
- ◎集団・組織の多様性は、同調圧力に屈せず、
違和感を互いに出し合うことによって担保される——北川達夫



対話流

未来を生み出すコミュニケーション

清宮普美代×北川達夫

四六判 / 224 ページ / 本体 1500 円 + 税

- ◎自分の個性は、
対話を通じてはじめて見出すことができるもの——北川達夫
- ◎どんなに大切に美しいメッセージを含んだ表現であっても、
対話のプロセスがなければ、人を説得する力は生まれない——平田オリザ



ニッポンには 対話がない

学びとコミュニケーションの再生

北川達夫×平田オリザ

四六判 / 216 ページ / 本体 1500 円 + 税